

## (仮称)子ども・若者の意見を聞く機会アンケート (案)

実施主体	草津市 (案)	参照：こども家庭庁
対象	市内の中学校 (2年生を想定) 市内の高校 (1年生を想定) 市内の18歳から39歳の若者	小学4年生世代～29歳世代 (1994年4月2日生まれ～2014年4月1日生まれ) ※各世代の生まれ年については2023年時点に修正後
方法	学校へ依頼、Webなど検討中	Web
期間	令和6年3月を予定	令和4年11月16日 - 令和4年11月30日
設問数	中学生・高校生 想定 (12ページ) 説明、設問20問程度 18～39歳の若者：(20ページ) 説明、設問35問以内	25問
回答数	・中学生 対象生徒数：約1,300名 ・高校生 対象生徒数：約1,600名 ・18～39歳の若者：票本：1,400票 (420票) 却率見込み30%	2,119名

## 【アンケートの趣旨・目的】

子ども施策を推進いく中で、子どもや若者から意見をしっかりと聴く仕組みを作るために、どのような手法が適しているか、どのような工夫が必要になってくるのか等を検討するための基礎資料とする。

また、18歳から39歳の若者については、合わせて生活実態に関する項目を加え、調査を行う。

## 【主なアンケート項目分類】

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| ・年代                | (18～39歳への別質問)              |
| ・性別                | ・学生か学生以外か                  |
| ・居場所の有無            | ・就労の状況                     |
| ・住まいの学区            | ・無職者の意識、状況                 |
| ・子どもが意見を表明する権利の周知度 | ・外出の頻度と暮らしぶり               |
| ・草津市からの情報の入手方法     | ・草津市が取り組む青少年や若者の施策に望むこと    |
| ・意見表明への意欲・関心       | ・結婚、出産、子育てに必要なサポート (少子化対策) |
| ・意見が伝えやすい方法やルール    |                            |
| ・草津市に望む取組の充実       |                            |
| ・悩みを相談する相手の有無、認知度  |                            |
| ・新型コロナウイルスの影響      |                            |

## 【集計結果の活用 (案)】

年代 × 意見を言いやすい方法

年代 × 意見を表明することへの意欲・関心

年代 × 意見を表明しやすいルールの考え方

年代 × 意見が反映されることへの関心・興味

年代 × 意見を表明するための手法の認知度